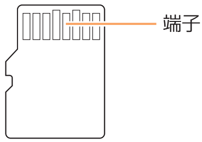
microSDカード

microSDカードについて

microSDカードは外部メモリとして利用できます。
本体で撮影したフォトやムービー、ダウンロードした様々なデータを保存したり、データフォルダ内のデータやアドレス帳などのデータを保存したりできます。
microSD™アダプタに装着すると、SD™メモリカードに対応したパソコンなどでも利用できます。
※本書では、microSD™メモリカードを「microSDカード」と記載しています。なお、microSD™メモリカードは同梱されていません。市販品をお使いください。



ご利用上の注意



・ご使用になる前に初期化（フォーマット）してください。初期化のしかたは、「microSDカードを初期化する」（P.194）をご参照ください。パソコンなどで初期化すると本体側で認識できない場合があります。
・端子に触れたり、水にぬらしたり、汚したりしないようにしてください。
・曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
・持ち運ぶときや保管する際は、microSDカード付属の専用ケースに入れるなど、金属部分がショートしないように注意してください。
・長時間お使いになったあと、取り外したmicroSDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
・静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境での使用や保管は避けてください。
・microSDカードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
・microSDカードに保存したデータは、別のmicroSDカードやパソコンなどにもコピーしてバックアップしておくことをおすすめします。ただし、著作権保護ありのデータはコピーできません。microSDカードの破損などにより、保存したデータが消失した場合、当社として責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・当社基準において動作確認したmicroSDカードは以下の通りです。その他のmicroSDカードの動作確認につきましては、各microSDカード発売元へお問い合わせくださいますようお願いいたします。なお、動作確認の最新情報につきましてはauホームページをご覧いただくか、auお客様センターまでお問い合わせください。
W56Tでは、2007年11月現在発売されている、microSDカードで動作確認を行っています。

メーカー	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
東芝	−	−	○	○	○	○
バッファロー	−	○	○	○	○	○
SanDisk	○	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	○	○

※「○」：動作確認済　「−」：未確認もしくは未発売　　2007年11月現在

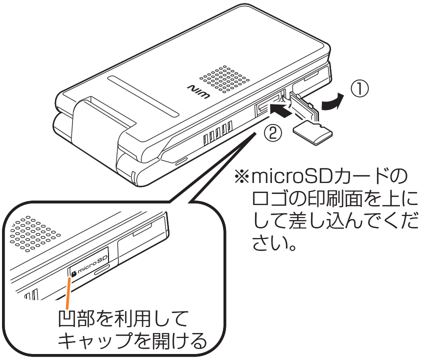
・microSDHCカードは使用できません。
・microSDカードは個人情報も保存可能であるため、取扱いには十分ご注意ください。
・使用しなくなったmicroSDカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にmicroSDカードを破壊した上で処分することをおすすめします。
・お客様のau ICカードを挿入していない場合は、著作権保護ありのデータをmicroSDカードに移動できないなど、著作権保護ありのデータの表示／操作が制限される場合があります。
・microSDカードを挿入、取り出したあとは、ゴミが入らないようにメモリカードスロットのキャップを閉めてください。
・メモリカードスロットのキャップを強く引っ張ると、外れる原因となります。
・パソコンなどに接続するときは、各取扱説明書に従ってください。
・microSDカードは、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、傷害の原因となる場合があります。
・microSDカードに新たにラベルやシールを貼らないでください。

microSDカードを挿入する

1 **メモリカードスロットのキャップを開ける**

2 **microSDカードをメモリカードスロットにカチッと音がするまで差し込む**

3 **キャップを閉める**



- microSDカードは正しく挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードは利用できません。
- microSDカードを挿入すると、待受画面に「![SD]」が表示されます。
- microSDカードは無理に挿入しないでください。

microSDカードを取り出す

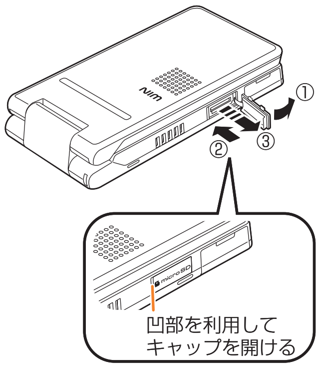
1 **メモリカードスロットのキャップを開ける**

2 **指で軽く押し込んだあと、ゆっくり手前に戻すようにして指を離す**

microSDカードが少し出てきます。

3 **microSDカードをゆっくりと引き抜く**

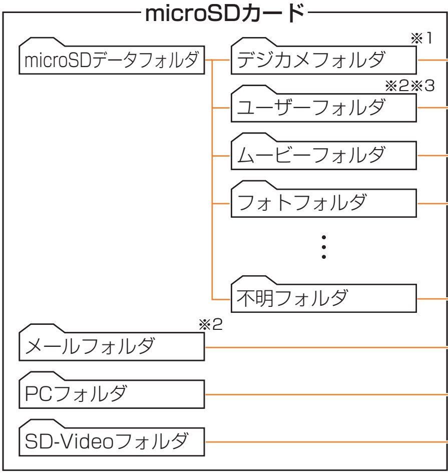
4 **キャップを閉める**



- ご利用になるmicroSDカードによっては取り出しにくい場合があります。取り出しにくい時は無理に取り出すと故障の原因となりますので、microSDカードを再度軽く押して取り出してください。
- microSDカードの取り出しや挿入のときに、急に指を離すとカードが飛び出すことがあります。顔などを近づけないでください。特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。
- microSDカードへアクセスしているときは、microSDカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

フォルダについて

本体に登録されているアドレス帳、Eメール、Cメールなどのバックアップや、画像やムービーなどのデータを保存できます。



デジカメモードで撮影したフォトが保存されます。

ムービーのQVGAモード、VGAモードで録画したデータが「ムービーフォルダ」に保存されます。また、本体のデータフォルダからコピーまたは移動するとそれぞれのフォルダに保存されます。保存できるデータの種類と対応フォルダの関係については、「保存できるデータの一覧」（P.158）をご参照ください。

Eメール送受信ボックスやCメール送受信ボックスからメールをコピーしたときは「メールフォルダ」に保存されます。

パソコンなどからデータを保存するときは、「PCフォルダ」にコピーします。ただし、データの表示／再生はできません。

EZテレビなどで録画したデータが保存されます。

※1 サブフォルダが作成されます。
※2 サブフォルダを最大100個まで作成できます。
※3 サブフォルダの「プライベート」はありません。

●サブフォルダについて

・デジカメフォルダには「nnnKTS3H」という名称のサブフォルダが作成され、カメラ機能で撮影したフォトが保存されます。「nnn」には100～999が小さい方からフォルダの作成順に割り振られます。また、以下の場合、自動的に新しいサブフォルダが作成され、保存を行います。
  - サブフォルダの保存可能件数が一杯になった場合（保存可能件数は撮影状況やmicroSDカードの容量により異なります）。
  - デジカメなどほかの機器でmicroSDカードを使用した場合。
・作成できるサブフォルダの数は900フォルダまでです。「999KTS3H」というサブフォルダが作成された場合は、そのサブフォルダが保存可能件数（保存可能件数は撮影状況やmicroSDカードの容量により異なります）に達すると保存できません。その場合は、「999KTS3H」サブフォルダを削除することで保存可能となります。

・各フォルダに保存できる件数は最大1,000件までです。

microSDカードを利用してできること

機能	参照ページ
データのコピー／移動	P.183
データの表示／再生	P.184
アドレス帳、スケジュール、タスクリスト、EZwebのお気に入り、PCサイトビューアーのお気に入りのバックアップ	P.191
フォトのプリント指定（DPOF）	P.192
microSDカードの初期化	P.194
microSDカードの使用状況の確認	P.194
データのファイル変換	P.194

●データのコピー／移動について

著作権保護ありのデータは移動のみです。ただし、PCフォルダには移動できません。

コピー／移動元	コピー／移動先	参照ページ
本体のデータフォルダ	microSDカードのデータフォルダ（デジカメフォルダ・ユーザーフォルダ・対応フォルダ）・PCフォルダ・SD-Videoフォルダ※	P.166
Eメール、Cメール	メールフォルダ	P.115、131
microSDカードのデータフォルダ（デジカメフォルダを含む）	本体のデータフォルダ（ユーザーフォルダ・対応フォルダ）、microSDカードのデータフォルダ（デジカメフォルダ・ユーザーフォルダ・グラフィック・デコレーションエモジ・対応フォルダ）・PCフォルダ	P.186
microSDカードのPCフォルダ	本体のデータフォルダ、microSDカードのデータフォルダ（移動のみ）	P.189
microSDカードのSD-Videoフォルダ	本体のデータフォルダ	P.186

※SD-Videoフォルダ内のEZテレビにのみ移動することができます。

・「対応フォルダ」を選んだ場合やフォルダを選ぶ画面が表示されない場合は、保存するデータの種類によって、保存されるフォルダが自動的に選ばれます。

本体とmicroSDカードの簡易切替機能について

本体とmicroSDカードのデータフォルダに同じフォルダがある場合は、microSD／本体を押すとフォルダを切り替えることができます（データが保存されていないフォルダには切り替わりません）。
本体のデータフォルダを選んでいるときは画面の右上に「■」が表示され、microSDカードのデータフォルダを選んでいるときは画面の右上に「■」が表示されます。

著作権保護ありのデータの保存先について

著作権保護ありのデータは、本体から外に出すことができないデータです。ただし、データの提供者が許可していれば、著作権保護に対応したmicroSDカードへ移動したり、本体に戻すことができます（移動回数に制限はありません）。

・初めて著作権保護ありのデータをmicroSDカードに保存する際は、時間がかかる場合があります。
・著作権保護ありのデータには「■」または「■」が表示されます。暗号化方式によってアイコンが変わります。
・W56Tでダウンロードした着うた®、着うたフル®、ビデオクリップ、ビデオやLISMO PortでCDから読み込んだ楽曲データ、LISMO Music Storeで購入した着うたフル®は、同じ電話番号であってもLISMO対応機種以外では使用できない場合があります。
・著作権保護ありのデータが保存されたmicroSDカードをほかの機器※に挿入しても、著作権保護ありのデータを再生したり移動することはできません。
※著作権保護ありのデータに対応した機種に機種変更した場合（電話番号が同じ場合）のみ、再生したり移動することができます。
・パソコンなどで、パソコンのハードディスクや別のmicroSDカードにコピーしても、著作権保護ありのデータは再生できません。また、データが破損して元のmicroSDカードに戻しても再生ができなくなることがあります。

データフォルダ／SD-Videoフォルダを利用する

microSDカードのデータフォルダに保存されているデータは、本体のデータフォルダに保存されているデータと同様に操作することができます。データフォルダについて詳しくは、「データフォルダについて」（P.158）をご参照ください。

・microSDカードのデータフォルダに保存されているデータを利用する際に、本体のデータフォルダに移動／コピーされる場合や機能が制限される場合があります。

microSDカードに保存したデータを表示／再生する

[■] ▶ microSDメニュー ▶ microSDデータフォルダ ／ SD-Videoフォルダ

1 フォルダを選ぶ⇒[■]

データ一覧画面が表示されます。

≫フォルダ一覧が表示されたときは、フォルダを選ぶ⇒[■]を押すと、データ一覧画面が表示されます。

2 表示／再生したいデータを選ぶ⇒[■]

・データによっては表示／再生できない場合があります。
・ASF形式のSD-Videoは再生できません。
・データによっては、早送り再生、巻き戻し再生、本体のデータフォルダへの移動などが行えないことがあります。また、録画状況によっては本体では再生できないことがあります。
・SD_BINDフォルダ（著作権保護フォルダ）内のデータは、パソコンなどW56T以外の機器で操作しないでください。
・microSDカードのデータフォルダのフォルダ一覧画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。ただし、選んだフォルダによって表示される項目が異なります。

microSD使用状況	microSDカードの使用状況を確認
フォルダ名編集	選んだフォルダの名前を編集
フォルダ作成	ユーザーフォルダにフォルダを作成
フォルダ削除	選んだフォルダ内のデータを削除 ※ フォルダも削除されます。

・microSDカードのデータフォルダのデータ一覧画面／再生画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。ただし、画面や選んだデータによって表示される項目が異なります。

登録	データを機能に登録
音量変更	再生中のFlash®、着Flash（アニメ）の再生音量を変更
再生クオリティ変更	再生中のFlash®、着Flash（アニメ）、メインメニューの画質を設定 「high」は画質を重視し、「low」は軽快な動作を重視します。 「medium」は「high」と「low」の中間です。
再開	再生を再開
時間指定ジャンプ	時間を指定して再生位置を変更 ※ 指定した時間に正確に変更されない場合があります。
Eメール添付	データをEメール／デコレーションメールに添付
本体へ移動	データを本体のデータフォルダに移動
本体へコピー	データを本体のデータフォルダにコピー
microSD内移動	データをmicroSDカードのユーザーフォルダなどに移動
microSD内コピー	データをmicroSDカードのユーザーフォルダなどにコピー
削除	データを削除
赤外線送信	データを赤外線を利用して送信
Bluetooth送信	データをBluetooth®を利用して送信
TouchMessage送信	データをTouch Messageを利用して送信
全画面再生	再生中のデータを全画面で再生
拡大再生	再生中のデータの再生サイズを切り替え
画像編集	画像を編集して、別の画像を作成
画像切出	画像の一部を切り出して、別の画像を作成
ファイルサイズ変換	画像の画質を調整して、ファイルサイズを小さくした画像を作成
ムービー編集※	ムービーを編集
タイトル編集	データのタイトルを編集
GPS情報編集	データのGPS情報を編集
EZナビウォーク	データのGPS情報を利用
サイトへ接続	データに登録されているサイトへアクセス
サムネイル／リスト切替え	表示方法の変更
詳細情報	データの詳細情報を確認
楽曲詳細表示	データの曲名／アーティスト名／アルバム名／トラック番号／再生時間／権利者情報／販売元を確認
映像詳細表示	データのタイトル／スタッフ／キャスト／制作年／制作国／シリーズ情報／再生時間／権利者情報／販売元／ジャンル／関連ワード／コンテンツ概要／パッケージ小見出しを確認

※シーン編集の「高品質L変換」の操作結果のデータは、本体のデータフォルダに保存されます。

microSDカードのデータを移動／コピーする

microSDカードに保存されているデータを、本体のデータフォルダやmicroSDカードのデータフォルダ（ユーザーフォルダなど）／PCフォルダに移動／コピーすることができます。

■ ▶ microSDメニュー ▶ microSDデータフォルダ ／ SD-Videoフォルダ

1 データ一覧画面を表示

≫データを1件移動／コピーする場合は、移動／コピーするデータを選びます。

2 サブメニュー ⇒「本体へ移動」／「本体へコピー」／「microSD内移動」／「microSD内コピー」⇒■

「microSD内移動」／「microSD内コピー」を選ぶと、microSDカードのユーザーフォルダなどに移動できます。

3 移動／コピー方法を選ぶ⇒■

1件移動／1件コピー	データを1件移動／コピー
選択移動／選択コピー	複数のデータを移動／コピー
フォルダ内全件移動／フォルダ内全件コピー	表示中のフォルダのデータを全件移動／コピー

4 移動／コピー先を選ぶ⇒■

・デジカメモード画像（DCF規格準拠のJPEGファイル）をmicroSDカードの「デジカメフォルダ」に移動／コピーする場合は、ファイル名が以下のように変更されます。

フォトフォルダ内のデータ	PAP_XXXX.JPG（XXXX：連番）
グラフィックフォルダ内のデータ	GRL_XXXX.JPG（XXXX：連番）

・データによって、移動／コピー先は異なります。

フォルダを作成する

microSDカード内の「ユーザーフォルダ」内にフォルダを作成し、データを管理することができます。

■ ▶ microSDメニュー ▶ microSDデータフォルダ ▶ ユーザーフォルダ

1 サブメニュー ⇒「フォルダ作成」⇒■

2 フォルダ名を入力⇒■

・作成できるフォルダ数は最大100個までです。

メールフォルダを利用する

メールフォルダのメールを表示する

■ ► microSDメニュー ► メールフォルダ

1 メールボックスを選ぶ⇒■
2 サブフォルダを選ぶ⇒■
3 表示したいメールを選ぶ⇒■

・フォルダ一覧画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。

フォルダ名編集	選んだフォルダの名前を編集
メール削除	メールを削除
フォルダ作成	フォルダを作成
フォルダ削除	選んだフォルダ内のデータを削除 ※ フォルダも削除されます。
表示件数切替え	フォルダ内のメール件数を表示する／しないを切り替え ≫[#]を押しても切り替えることができます。

・メール一覧画面／メール内容表示画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。ただし、画面やメールによって表示される項目は異なります。

返信	差出人へメールを返信
全員へ返信	差出人と、自分以外に同じEメールを受信した全員へ通常のEメールで返信
本文転送	Eメール本文を引用してEメールを転送
編集	メールを編集
コピーして編集	メールを編集 ※ 元のメールは、編集されません。
削除	メールを削除
ソート	メールの並べ替え
フォルダ移動	メールを別のサブフォルダに移動
アドレス詳細表示	Eメールの場合：「From」、「To」などに設定されているアドレスを確認 Cメールの場合：送受信相手の電話番号を確認
本文指定コピー	メールの本文をクリップボードへコピー
文字サイズ	メール内容表示画面の文字サイズを一時的に切り替え ※ メール内容表示画面を表示したときの文字サイズはM342「メール表示」で設定します。
ファイル情報表示	本文中に表示された添付データを選んでファイル情報を確認

フォルダを作成する

microSDカード内の「メールフォルダ」のメールボックス内にフォルダを作成し、データを管理することができます。

■ ► microSDメニュー ► メールフォルダ

1 メールボックスを選ぶ⇒■⇒[サブメニュー]⇒「フォルダ作成」⇒■
2 フォルダ名を入力⇒■

・作成できるフォルダ数は最大100個までです。

メールを移動する

サブフォルダ間でメールを移動できます。

■ ► microSDメニュー ► メールフォルダ

1 メールボックスを選ぶ⇒■

2 サブフォルダを選ぶ⇒■

≫メールを1件移動する場合は、移動したいメールを選びます。

3 サブメニュー⇒「フォルダ移動」⇒■

4 移動方法を選ぶ⇒■

1件移動	メールを1件移動
選択移動	複数のメールを移動
フォルダ内全件移動	フォルダ内のメールを全件移動

5 移動先のフォルダを選ぶ⇒■⇒「はい」⇒■

一覧表示を並べ替える

条件に従って並べ替える（ソート）ことができます。

■ ► microSDメニュー ► メールフォルダ

1 メール一覧画面を表示⇒サブメニュー⇒「ソート」⇒■

2 条件を選ぶ⇒■

Eメール受信ボックス	日付順、差出人名順、件名順
Eメール送信ボックス	日付順、未送信順、宛先名順、件名順
Cメール受信ボックス	日付降順、日付昇順、電話番号順
Cメール送信ボックス	日付降順、日付昇順、電話番号順

PCフォルダを利用する

本体とパソコンなどとの間でmicroSDカードを介してデータをやりとりするときに利用するフォルダです。

PCフォルダのデータを移動する

PCフォルダのデータをmicroSDカードのデータフォルダや本体のデータフォルダに移動することができます。パソコンなどのデータを本体で利用するときに使います。

■ ► microSDメニュー ► PCフォルダ

≫ データを1件移動する場合は、移動するデータを選びます。

1 **サブメニュー⇒「本体へ移動」／「microSD内移動」⇒■**

「microSD内移動」を選ぶと、microSDカードのデータフォルダに移動できます。

2 **移動方法を選ぶ⇒■**

1件移動	データを1件移動
選択移動	複数のデータを移動
フォルダ内全件移動	フォルダ内のデータを全件移動

・PCフォルダ内のデータは再生／登録することはできません。
・以下のデータは不明フォルダに移動され、再生することはできません。

EZテレビ（ワンセグ）の録画データ	パソコンから読み込んだビデオクリップ
着うたフル®	ケータイアレンジファイル※
著作権保護ありのプレイリスト※	クーポン内容
LISMO Music Storeで購入した着うたフル®	Eメール※
CDからパソコンに読み込んだ楽曲データ	そのほかデータフォルダに保存できないデータ
ビデオクリップ	

※ 本体のデータフォルダに移動する場合は、対応するフォルダに移動されます。

・PCフォルダのデータ一覧画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。

本体へ移動	データを本体のデータフォルダに移動
microSD内移動	データをmicroSDカードのデータフォルダに移動
削除	データを削除

外部メモリ転送モードを利用する

ご利用になる前に、USBドライバをインストールしてください。
詳しくは、付属のCD-ROM［トップページ］⇒［データ通信ツール］をご覧ください。

本体とパソコンをUSB接続すると、microSDカード内のデータをパソコンで読み書きできます。

1 USBケーブル（試供品）をパソコンのUSBポートに接続する
パソコンが完全に起動している状態で、USBケーブル（試供品）を接続してください。

2 ■ 5 7 2

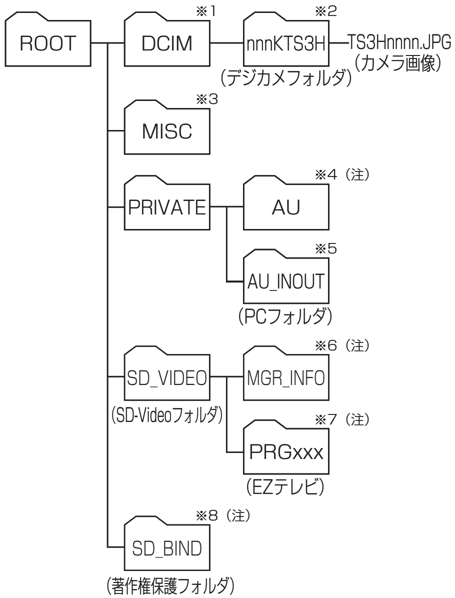
3 「データ通信をしながら充電する」（P.27）の操作を行う
外部メモリ転送モードが開始され、本体に挿入したmicroSDカードをパソコンで閲覧できます。

4 パソコンでmicroSDカード内のデータを読み書きする

5 パソコンでの操作終了後、パソコンのタスクバー上にある（ハードウェアの取り外しアイコン）をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックする
安全に取り外し可能な旨のメッセージがパソコン側に表示されます。

6 USBケーブル（試供品）を取り外す

●パソコン上で表示されるmicroSDカードのフォルダ構成について
パソコンなどでmicroSDカードを閲覧した場合のフォルダ構成は以下の通りです。



（注）パソコンで操作すると、データが破損して正常に表示できなくなる可能性があります。このフォルダの操作は行わないでください。

※1 本体にmicroSDカードを挿入している場合、フォト（デジカメモード）で撮影したフォトが保存されます。
※2 フォルダ名の「nnn」には100～999が小さい方からフォルダの作成順に、ファイル名の「nnnn」には0001～9999が小さい方からファイルの作成順に割り振られます。
※3 DPOFプリント予約のデータが保存されるフォルダです。
※4 本体で表示するためのメールファイル（ML）、データフォルダファイル（DF）、バックアップファイル（BU）、著作権保護フォルダ（EF）の保存されているフォルダで、本体から操作することができます。
※5 本体とパソコンなどでデータをやりとりするためのフォルダです。
※6 SDビデオフォルダの管理ファイルが保存されるフォルダです。
※7 EZテレビの録画データが保存されているフォルダで、本体から操作することができます。
※8 著作権保護ありのデータを保存します。

・各機能起動中は設定ができません。起動中の機能をすべて終了させてから設定してください。操作については「起動中の機能を終了する」（P.40）をご参照ください。
・Microsoft® Windows® XP/Windows Vista® 32ビット版の各日本語版以外のOSでの動作は、保証していません。
・パソコンで閲覧できるようになるまでに、時間がかかることがあります。
・パソコンでデータの読み書きをしている間に、microSDカードやUSBケーブルを取り外すと、データが破損するおそれがあります。外部メモリ転送モード利用中はmicroSDカードやUSBケーブルを取り外さないでください。
・外部メモリ転送モード利用中に電池パックを取り外さないでください。
・外部メモリ転送モード利用中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、着信／メール受信などの受信動作、アラームなども動作しません。
・外部メモリ転送モード利用中に、パソコンなどで初期化（フォーマット）しないでください。本体側で認識できない場合があります。

バックアップメニューを利用する

microSDカードのバックアップフォルダにアドレス帳やスケジュール、タスクリスト、お気に入りなどのデータをバックアップしたり、バックアップしたデータを取り込んだりできます。

■ ▶ microSDメニュー ▶ バックアップ

1 バックアップするデータを選ぶ⇒■

「EZお気に入りリスト」を選ぶとEZwebのお気に入り、「PCサイトお気に入り」を選ぶとPCサイトビューアーのお気に入りを操作できます。

≫「microSDから読込」／「詳細情報」を使用する場合は、バックアップデータを選びます。

2 サブメニュー⇒項目を選ぶ⇒■

microSDへ保存	データをmicroSDカードに保存（バックアップ）
microSDから読込み	microSDカードにバックアップしたデータを本体に戻す 本体のデータをすべて削除してから、バックアップしたデータを戻しますのでご注意ください。
削除	バックアップデータをmicroSDカードから削除
詳細情報	バックアップデータの保存日時などを確認

・M427「シークレット」の設定にかかわらず、すべてのデータを保存したり取り込んだりできます。
・アドレス帳に登録した著作権保護ありの画像データはmicroSDカードにバックアップすることはできません。
・au Media Tuner起動スケジュールをmicroSDカードに保存する場合は、通常のスケジュールとして保存されます。
・バックアップ中にmicroSDカード内の空き容量が不足した場合、バックアップは中断されます。
・EZwebのお気に入りとPCサイトビューアーのお気に入りのフォルダ名はバックアップできません。

フォトのプリント指定をする（DPOF）

デジカメフォルダに保存されているフォトの中からプリントしたいコマや枚数を決め、それらをDPOF（Digital Print Order Format）形式でmicroSDカードに記録することができます。コマや枚数を記録したmicroSDカードをDPOF対応のお店に持って行くと、簡単に注文できます。スタンダードプリントとインデックスプリントに対応しています。

スタンダードプリント

写真を1枚ずつ注文



インデックスプリント

1枚の用紙に縮小写真を並べて印刷するように注文



スタンダードプリントを指定する

[■] ► microSDメニュー ► DPOFプリント予約 ► スタンダードプリント

1 フォトの指定方法を選ぶ⇒[■]

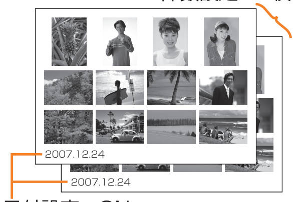
全画像	デジカメフォルダに保存されているすべてのフォトを同じ設定（印刷部数、日付設定）でプリント指定 **1 印刷部数を入力⇒[■]** **2「ON」／「OFF」⇒[■]⇒[■]**
選択画像	お好みのフォトだけをプリント指定 印刷部数を0枚に指定すればプリントされません。また、日付設定も1枚ずつ指定できます。 **1 プリントするフォトを選ぶ⇒[■]** ≫印刷部数と日付設定を指定するには、フォトを選ぶ⇒[サブメニュー]⇒「部数設定」／「日付設定」⇒[■]を押します。 **部数設定**：印刷部数を設定（最大100部） **日付設定**：日付を印刷するように設定 「ON」にすると「DATE」が表示されます。 **2 [完了]⇒[■]**

・スタンダードプリントでプリント指定できるフォトは、最大100件です。同じフォトを何部印刷しても1件と数えます。
また、フォト1件につき最大100部までプリント指定できます。
・デジカメフォルダのフォト一覧画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。

画像表示	選んだフォトを全画面表示
部数設定	選んだフォトの印刷部数を設定
日付設定	選んだフォトの日付設定を変更

インデックスプリントを指定する

インデックスプリントに含めるフォトを選んだり、インデックスプリントの部数を指定したりできます。



■ ▶ microSDメニュー ▶ DPOFプリント予約 ▶ インデックスプリント

1 フォトの指定方法を選ぶ⇒■

全画像	すべてのフォトをインデックスプリントに含める **1 印刷部数を入力⇒■** **2 「ON」／「OFF」⇒■⇒■**
選択画像	お好みのフォトだけをインデックスプリントに含める **1 インデックスプリントに含めるフォトを選ぶ⇒■** ≫印刷部数と日付設定を指定するには、フォトを選ぶ⇒サブメニュー⇒「部数設定」／「日付設定」⇒■を押します。 **部数設定**：インデックスプリントの部数を設定（最大100部） **日付設定**：日付を印刷するように設定 「ON」にすると「DATE」が表示されます。 **2 完了⇒■**

・インデックスプリントに含めることができるフォトは、最大100件です。
・インデックスプリントのフォト選択画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。

画像表示	選んだフォトを全画面表示
部数設定	インデックスプリントの部数を設定
日付設定	インデックスプリントの日付設定を変更

プリント指定を解除する

microSDカードに記録されているDPOF形式の情報をすべて削除し、スタンダードプリントとインデックスプリントのどちらも印刷部数を0枚にします。

■ ▶ microSDメニュー ▶ DPOFプリント予約 ▶ プリント予約解除

1 「はい」⇒■

・プリント指定を解除しても、microSDカードに保存されているフォトは削除されません。

プリント指定を確認する

microSDカードに記録されているプリント指定の概要を確認できます。

■ ▶ microSDメニュー ▶ DPOFプリント予約 ▶ 予約状況確認

スタンダードプリント	スタンダードプリントで指定したフォトの合計部数 お店に持って行ったときに、写真を何部受け取ることになるかを示しています。
インデックスプリント	インデックスプリントの部数 お店に持って行ったときに、インデックスプリントを何部受け取ることになるかを示しています。

microSDカードを初期化する

■ ► microSDメニュー

1 サブメニュー ⇒「microSD初期化」⇒■⇒ロックNo.を入力⇒■⇒「はい」⇒■

・各機能起動中は設定ができません。起動中の機能をすべて終了させてから設定してください。操作については「起動中の機能を終了する」(P.40)をご参照ください。
・au電話で初期化していないmicroSDカードを使用する場合には、本体で初期化してからご使用ください。パソコンなどで初期化すると本体側で認識できない場合があります。
・microSDカードを初期化すると、保存されていたデータはすべて削除されます。

microSDカードの使用状況を確認する

■ ► microSDメニュー

1 サブメニュー ⇒「microSD使用状況」⇒■

・microSDカードの使用状況には、管理情報データ(削除不可)も含まれます。

microSDカードのデータをW56Tで利用できるようにする

機種変更から引き継いだmicroSDカードに著作権保護ありのデータが保存されていて、そのmicroSDカードをW56Tに挿入した場合、そのままではご利用になれないことがあります。その際は、microSDカードに保存されているデータを以下の操作でファイル変換してください。

■ ► microSDメニュー

1 サブメニュー ⇒「ファイル変換」⇒■⇒「はい」⇒■
≫ 中止 を押すと、変換を中止できます。

・W56Tでファイル変換したデータは別のau電話で使用できない場合があります。
・ファイル変換するには、microSDカードの空き容量が約5MB必要です。
・著作権保護ありのデータでも、データの種類によって変換できない場合があります。
・再生回数制限、再生可能期限制限、再生可能期間制限が設定されているデータは変換できません。
・変換処理は、終了するまでに時間がかかる場合があります。
・いったんデータを変換すると、変換前のデータに戻すことはできません。